

2022年5月25日

各位

ENEOSオーシャン株式会社

## 大型危険物積載船の安全性向上に向けて 離着棧支援装置を開発・搭載を開始

ENEOSオーシャン株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表取締役社長：廣瀬 隆史）と、三井E&S造船株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：船津 勇）は、離着棧支援装置（以下、本装置）を共同で開発し、大型の原油船への搭載を開始しました。

本装置は、当社が長年培ってきた巨大船での危険物安全輸送における操船ノウハウと三井E&S造船株式会社が開発を重ねた入港支援技術と自動運航の技術を織り込んだ装置です。全世界対応のGNSS技術と運動予測技術により、操船者であるパイロットおよび船長が、着棧・着標時における船舶の位置や挙動、速力や風力を正確に把握することを支援します。またそれらの情報の共有を容易にする機能や、船が危険な状況にある際に警報を発する機能なども備えており、ことリスクの高い離着棧作業等での操船事故を未然に防ぐことを可能とします。

本装置によって、ヒューマンエラーの防止による海上輸送の安全性向上と、操船者の作業負荷軽減を実現するとともに、事故による環境へのリスクを大きく低減できることが期待されます。

また近い将来は、ターミナルやオフィスとも情報を共有できるシステムの開発を検討しており、業界全体の安全性向上に役立てることを計画しています。

（＊特許出願準備中）

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

ENEOSオーシャン株式会社

総務部 総務グループ TEL：045-307-3112 [担当：竹内]